

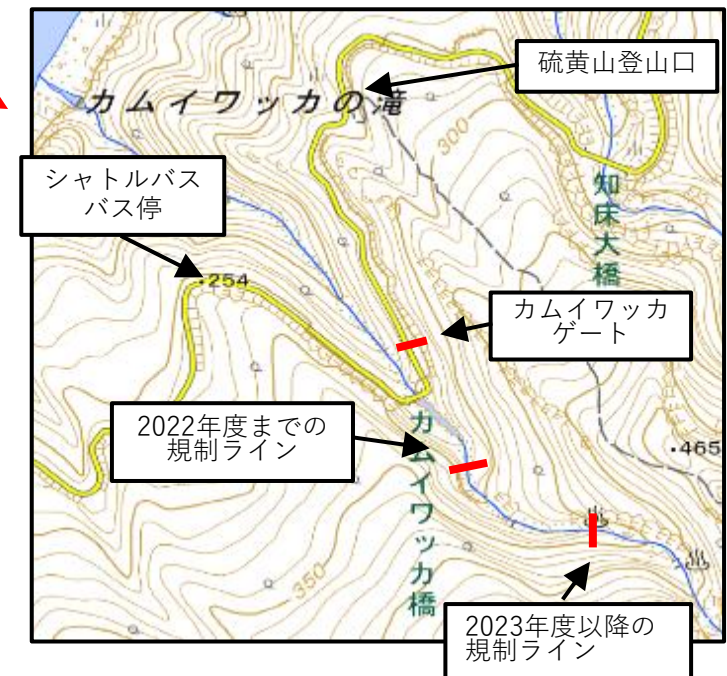
2024年度 カムイワッカ地区の運用状況と 各事業の実施結果について

目次

1. **カムイワッカ地区の運用状況**
 - 1-1.カムイワッカ地区の変遷
 - 1-2.年間事業スケジュール
 - 1-3.各地区の入り込み概況
2. **カムイワッカ湯の滝利活用検討事業**
 - 2-1.全体概念図
 - 2-2.実施概要
 - 2-3.利用の方法と運用
 - 2-4.マイカー規制の実施
 - 2-5.事業の実施結果
 - 2-6.2024年度 収支決算見込み（速報）
3. **路線バス増便事業**
 - 3-1.実施概要
 - 3-2.実施結果
4. **硫黄山登山道の利用実績**
5. **知床ディスタンスキャンペーン**
 - 5-1.実施概要
 - 5-2.実施結果

1. カムイワツカ地区の運用状況

1-1.地図と全体概念図



1-2. カムイワッカ地区の変遷（1999～2019）

《 1 9 9 9 ～ 2 0 1 0 》

年度	道道知床公園線の通行	マイカー規制期間	硫黄山登山道の利用	湯の滝の利用区間
1999	通行可能区間： 知床五湖－知床大橋まで (マイカー規制期間はシャトルバスのみ)	お盆を除く16日間	可	規制なし (5の滝まで)
2000		お盆を含む 23日間		
2001				
2002				
2003				
2004				
2005	工事のため 知床五湖－知床大橋間 一般車両通行止 (シャトルバスによるアクセスのみ)	7月13日～9月20日 の70日間	不可	5の滝利用 自粛
2006				1の滝 上部まで
2007				
2008				
2009				
2010				

《 2 0 1 1 ～ 2 0 1 9 》

年度	道道知床公園線の通行	マイカー規制期間	硫黄山登山道の利用	湯の滝の利用区間
2011	通行可能区間： 知床五湖－カムイワッカゲートまで (マイカー規制期間はシャトルバスのみ)	8月1日～8月25日、 9月15日～9月24日 までの計35日間	特例申請により利用可 (6月25日～8月25日)	1の滝 上部まで
第1期 2012			特例申請により利用可 (6月23日～9月23日)	
2013			特例申請により利用可 (7月2日～9月23日)	
2014	通行可能区間： 知床五湖－カムイワッカゲートまで (マイカー規制期間はシャトルバスのみ)	8月1日～8月25日、 9月13日～9月22日 までの計35日間	特例申請により利用可 (6月21日～9月23日)	
第2期 2015		8月1日～8月25日、 9月19日～9月23日 までの計30日間	特例申請により利用可 (6月20日～9月23日)	
2016		8月1日～8月25日、 9月18日～9月22日 までの計30日間	特例申請により利用可 (6月18日～9月25日)	
2017	通行可能区間： 知床五湖－カムイワッカゲートまで (マイカー規制期間はシャトルバスのみ)	8月1日～8月25日 までの計25日間	特例申請により利用可 (6月16日～9月24日)	
第3期 2018			特例申請により利用可 (6月15日～9月30日)	
2019			特例申請により利用可 (6月21日～9月29日)	

1-2. カムイワッカ地区の変遷（2020～2024）

年度	道道知床公園線の通行	カムイワッカ湯の滝の利用		マイカー規制		硫黄山登山道の利用
		一般利用	利活用検討事業 （試行事業）	＜従来区間＞ 五湖～ワッカ	＜新区間＞ ホロベツ～ワッカ	
2020	通行区間： 知床五湖～カムイワッカゲートまで （マイカー規制期間はシャトルバスのみ）	1の滝上部まで 自由利用	-	8月9日～8月15日 （7日間）	10月2日～10月4日 （3日間）	特例申請により利用可 （6月19日～9月27日）
2021	通行区間： 知床五湖～カムイワッカゲートまで （マイカー規制期間はシャトルバスのみ） 工事のため早期閉鎖 開通期間：6月1日～10月3日	1の滝上部まで 自由利用	1年目 4の滝下まで 試行事業A:7月1日～7月20日 試行事業B:10月2日～10月4日	8月7日～8月16日 （10日間）	10月1日～10月3日 （3日間）	特例申請により利用可 （6月1日～10月3日）
2022	供用区間： 知床五湖～カムイワッカゲート （マイカー規制期間はシャトルバスのみ） 工事のため早期閉鎖 開通期間：6月1日～10月2日	1の滝上部まで 自由利用	2年目 4の滝下まで 試行事業Bのみ: 9月30日～10月2日	8月6日～8月15日 （10日間）	9月30日～10月2日 （3日間）	特例申請により利用可 （6月1日～10月2日）
2023	供用区間： 知床五湖～カムイワッカゲート （マイカー規制期間はシャトルバスのみ） 工事のため早期閉鎖 開通期間：6月1日～10月3日	一般利用不可	3年目 4の滝下まで AB共通: 7月1日～10月1日	運行方法変更 7月22日～8月19日 （29日間）	-	特例申請により利用可 （6月1日～10月3日）
2024	供用区間： 知床五湖～カムイワッカゲート （マイカー規制期間はシャトルバスのみ） 工事のため早期閉鎖 開通期間：5月31日～10月1日	一般利用不可	4年目 4の滝下まで AB共通: 7月1日～9月30日	8月9日～8月18日 （10日間）	-	特例申請により利用可 （5月31日～10月1日）

2024年度の特記事項

- 基本的に2023年スキームを踏襲。
- マイカー規制期間短縮。協力金を約10%値上げ。
- シューズレンタル開始。ガイド情報等webサイト等充実化。

1-3. 2024年度 年間事業スケジュール

		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
道道知床公園線 (知床五湖ゲート～カムイワッカ)		◄ 冬期 通行止め	5/31(金) 11:00～ 10/1(火) 11:00				工事のため閉鎖 冬期通行止め	
カムイワッカ 湯の滝	利活用検討事業		◄ 湯の滝 利用不可	7/1(月)～ 9/30(月) (92日間)				
	マイカー規制と アクセス方法		◄ マイカー利用 (バス運行なし)		マイカー 規制 シャトル バス	マイカー利用 (バス運行なし)		
				8/9(金)～8/18(日) (10日間) 規制区間：五湖ゲート～カムイワッカ				
自然センター～知床五湖間 路線バス増便					5日間 ➡ 8/11(日)～15(木)	知床五湖の渋滞対策を 別途実施		
知床五湖ゲート 警備員配置		情報提供・制度周知のため マイカー規制期間外にも配置		計13日間 7/13(土) ～15(月)	8/9(金) ～18(日)			
硫黄山 登山道の利用		5/31(金)～ 10/1(火) (道路特例使用期間)						7

2. カムイワツカ湯の滝 利活用検討事業の実施結果

2-2. 実施概要

○実施期間：7月1日（月）～9月30日（月）の92日間

○利用形態：Webサイトによる完全事前予約制（個人利用）とガイド付き利用の併用

○利用料金（協力金）：

		マイカー規制期間 (8/9～8/18)	マイカー利用期間 (7/1～8/8・8/19～ 9/30)
大人		3,000円	2,200円
小人		750円	550円
バスのみ利用	往復	2,200円	
	片道	550円	

○運用体制：受付・案内・危急時対応・連絡調整等のため、現地補助員を常時3名配置
今年度は知床財団・知床自然公園財団を中心に、事務局（環境省・北海道・斜里町・他）も補助員として対応



入渓前にホワイトボードに記載の注意事項を
入渓前に利用者に説明



現地管理拠点の様子

2-3. 利用の方法と運用

予約から現地利用までのフロー(個人利用)

①専用Webサイトでレクチャーを視聴し、Webにて予約・決済



※レクチャーは英語対応あり

※2024年度からWEBサイトよりアクアシューズのレンタル予約・傷害保険加入を可能とした。

②マイカー利用期間の場合

●自家用車にてカムイワッカへ向かう

(必要に応じて自然センターにてアクアシューズをレンタル)



②マイカー規制の場合

●自然センターよりカムイワッカ直通バスに乗り換え
●乗車時には予約画面をバス運転手へ提示

(必要に応じて自然センターにてアクアシューズをレンタル)



③現地利用

1. 補助員が専用予約サイトで予約を確認

2. ヘルメットを貸出



3. 簡単な注意事項を受ける



4. 入渓開始

利用枠について

利用時間は9:00～16:00までとし、1時間あたりの受付可能人数を30名までとして運用した。
⇒30名×7枠で1日最大210名までの受付が可能。

当日予約について

2024年度より当日受付時間を現地利用の1時間前までとした。（去年は現地利用の2時間前まで）

対面での受付

原則オンラインでの予約制としたが、インターネットや決済手段のない利用者のため、対面での予約受付も知床自然センターで補足的に実施した。

ガイドツアーの取扱い

- 5月23日・27日に引率者研修と称し、引率型の利用条件やルールについて座学研修を実施した。参加した26名を「試行事業引率者」として登録。さらに、新規に登録された引率者を中心に、6月7日・12日に現地研修を実施した。（座学研修では、2023年度のヒグマの目撃状況や受傷・落石事例なども紹介）
- 引率者の催行するガイドツアーは、個人利用とは別枠で管理。
- 人数上限や協力金、車両規制などを優遇する一方、無線を携行し、管理にも協力。さらに専用WEBサイトに引率事業者一覧を掲載。
- カムイワッカ引率ツアーに使用する安全用具購入に係る費用の一部を助成。



ガイドツアーの様子

シューズレンタルを開始

安全面の向上のため、2024年度よりシューズのレンタルを開始した。
シューズは18cm～29cmまでを用意し（235足購入）、知床自然センターでのレンタルの他
レゼルバ上で事前予約を受け付けた。

WEB予約へのオプション追加

レゼルバにて湯ノ滝のぼりを予約する際に、シューズのオプションを追加した。

（予約の締め切りは利用の1時間前まで、シューズの予約も可能）
予約者は、当日知床自然センターにてシューズを受け取る仕組みとした。

知床自然センターでの対応と当日レンタル

レゼルバにてシューズオプションを付けた利用者へ自然センターの
カウンターにてシューズの受け渡しを行った。

事前予約がない利用者へも当日料金にてレンタルの受付を行った。

（シャトルバス期間より当日予約分の確保が厳しくなったため
シューズオプション追加を前日までとし、当日は自然センターでの受付のみとした）。

シューズの管理

- ・シューズを管理するためのプレハブを知床自然センターに設置
- ・レゼルバ予約分のシューズの準備
- ・レゼルバ上でのレンタル数の管理
- ・現地予備分のシューズの準備
（自然センターでシューズを受け取り忘れに対応するため、現地に予備シューズを用意した）
- ・返却されたシューズの洗浄・乾燥、メンテナンス
（カムイワッカでの使用のためか、ソールの摩耗・変色・接着部分の剥がれなどの劣化が見られた）



レンタルシューズ

【シューズレンタル料金】

	レゼルバオプション	自然センター受付
18 c m～22 c m	440円	550円
23 c m～29 c m	880円	1,100円



シューズ管理用プレハブ



シューズの洗浄と管理

2-4. マイカー規制の実施

混雑防止と駐車場対策を主眼として、繁忙期にマイカー規制を実施

- 実施日：8月9日（金）～8月18日（日）の10日間
- 規制区間：知床五湖ゲート～カムイワッカ（自転車・徒歩は通行可）
- 運行体制：知床自然センター～カムイワッカ直通のバスを45分間隔で往復運行（知床五湖は経由しない）

乗車券の取扱いと登山者対応

- カムイワッカの予約者については、事前決済を原則としたため、乗車券の発行は不要とした。
- バスのみの利用者については、知床自然センターで発券を行った。
- 登山者への対応として、各登山口への掲示のほか、縦走下山者への片道対応、岩尾別での途中下車対応等を行った。

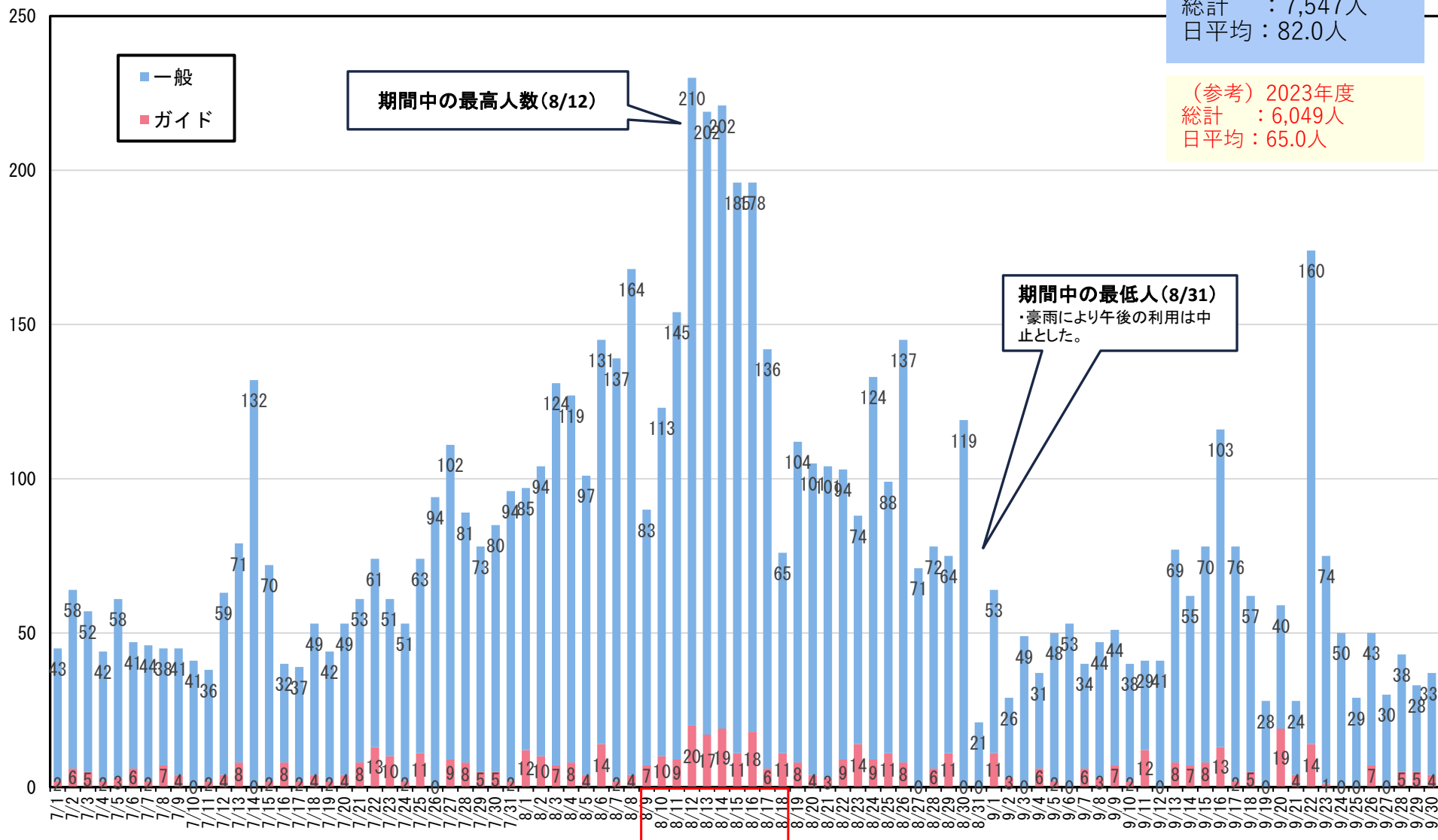


2-5. 事業の実施結果（日別利用実績）

昨年比125%の実績。今年度の最高人数は8月12日の208人、最低人数は8月30日の11人であった。

〈2024年度〉
総計：7,547人
日平均：82.0人

（参考）2023年度
総計：6,049人
日平均：65.0人



2-5. 事業の実施結果（利用者内訳）

		2024年		2023年	
		人数（人）	構成比（％）	人数（人）	構成比（％）
種別	大人	6,443	85.3%	5,201	86.0%
	小人（小学生・中学生）	1,104	14.6%	848	14.0%
居住地*1	日本	6,093	80.7%	5,544	91.7%
	外国	882	11.6%	505	8.3%
利用別	個人	6,975	92.4%	5,767	95.3%
	ガイドツアー	572	7.5%	282	4.7%
アクセス	マイカー（7/1～8/8・8/19～9/30）	5,456	72.2%	3,078	50.9%
	シャトルバス（8/9～8/18）	1,517	20.1%	2,675	44.2%
	徒歩・自転車	2	0.02%	14	0.2%
	ガイド車両	572	7.5%	282	4.7%

大人と小人の比率は
昨年度とほぼ変化なし。

外国人の利用割合が増加。
国籍の上位3か国は

1位：台湾 170人
2位：アメリカ 126人
3位：イスラエル 88人

*1 予約時に代表者が入力した情報から抽出。ガイドツアー参加者の人数に含まず。

2-5. 事業の実施結果（利用の中止やインシデント・アクシデント）

利用の中止

- ・ヒグマや荒天により一時的な利用中止が発生した。
- ・終日閉鎖となる日はなかった。

	日付	利用中止時間	合計時間	詳細
1	7月5日	14:55～15:00	5分	4の滝ゴール付近沢をヒグマがほぼ横切る形で横断。一時的に入渓をストップ、5分後に再開した。
2	7月6日	9:15～12:00	2時間45分	9:15～12:00強風により3の滝上部より先を閉鎖。
3		13:15～16:00	2時間45分	再度風が強くなってきたため 13:15より終日閉鎖。
4	7月8日	9:30～10:10	40分	カムイワッカゲート～利用者トイレ間の方面にクマが出没し利用停止。五湖側の駐車場へ利用者の誘導を行った。
5	7月14日	9:00～9:05	5分	朝到着時に登山口側ゲート上部にヒグマが出没。上の森の中へロストしたが入渓開始が 5分ほど遅れた。
6	8月10日	15:00～15:20	20分	1の滝下部右岸側でヒグマの目撃があり利用を一時中止。
7	8月31日	11:15～16:00	4時間45分	豪雨により増水し水位が上昇。3の滝で水の勢いが強くなったため 11:15より3の滝で奥の利用を中止。沢の水が濁るなど危険度が増した為、11時台の予約を最後に利用を中止した。
8	9月21日	12:10～16:00	3時間50分	11:04 3の滝手前左岸上部に亜成獣サイズのヒグマ1頭出没。12:00まで滞留し続けたため、利用を中止。

インシデント アクシデント

- ・2023年度と比較して、全ての事例において大幅に件数が減少した。
- ・ヒグマ出没、落石などが一定数発生したが、これによる直接的な被害はなかった。
- ・スリップや転倒によるケガが多く、大半は軽傷で済んでいる。

事象	件数	(参考) 2023年度
受傷	16件	30件
ヒグマ目撃	6件 （内利用制限を伴った目撃は5件） ※周辺地域含めると 37件	53件
落石	9件（野生動物が原因のものが1件、大雨や強風が原因のものが1件、 原因不明が7件）	14件

沢内でのインシデント・アクシデント一覧と発生場所

ヒグマ目撃一覧

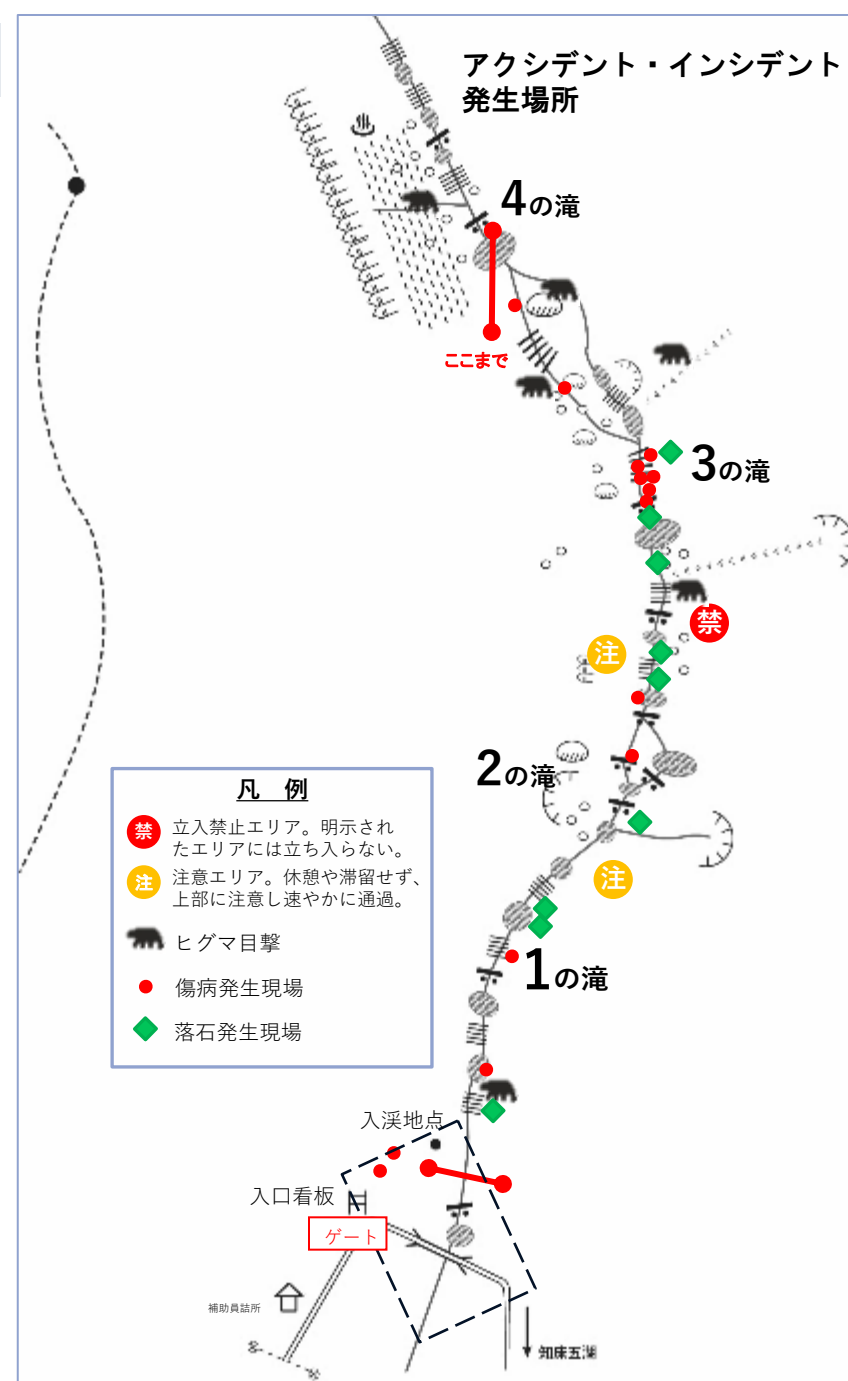
	日付	時間	場所	構成
1	7月5日	14:55	カムイワッカ湯の滝 4の滝	亜成獣 1頭
2	7月31日	11:00頃	4の滝上部	不明
3	8月1日	14:57	4の滝手前右岸側	亜成獣 1頭
4	8月10日	14:50	カムイワッカ湯の滝 一の滝下部	亜成獣 1頭
5	9月21日	11:04	カムイワッカ川3の滝付近下流側	亜成獣 1頭
6	9月25日	12:30	3の滝上部～4の滝間 左岸の高所	0歳 1頭

受傷一覧

	日付	場所	詳細
1	7月5日	3の滝	3の滝下降時に滑って転倒。右前腕に擦過傷（40～50代男性）。
2	7月15日	3の滝～4の滝	4の滝付近でハチを避けた際、後ろの木にぶつかり背中擦過傷（20代男性）。
3	7月21日	3の滝	下降時に2mほど転落、左肘に擦過傷（10代女性）。
4	7月21日	沢内	退渓後自然センターへ立ち寄った利用者より、子供の両太ももにかさぶたのようなものができてしまったと申し出あり（10代性別不明）。
5	7月27日	1の滝	水たまりへ滑り落ちる際岩に足の指をぶつけた（8歳女子）。
6		3の滝	3の滝下降時に滑落。腰、両膝、頭を強く打ち、額から出血あり（61歳男性）。私物のサンダルにグリップに不安あり。
7	7月30日	登り口付近の坂	沢から退渓時、転倒（年齢不明、女性）。
8	7月31日	3の滝	3の滝を登る際岩に膝を強打し滑落。右膝に出血、左膝に擦過傷（20代男性）。私物のシューズのグリップに不安あり。
9	8月1日	4の滝手前	岩場にて滑った際両手をつき、左小指を負傷（50代男性）。シューズは私物のものを使用。
10	8月11日	登り口～1の滝	下降時に転倒し、両膝に擦過傷と脛に打撲（10代女性）。
11	8月12日	2の滝	滑って着地に失敗し、足を捻挫（16歳女性）。シューズは自然センターよりレンタル。
12		3の滝	3の滝にて滑落した女児を受け止めた際、補助員があばら付近を負傷（30代男性）。
13	8月24日	3の滝	3の滝で滑り擦過傷（年齢、性別不明）。
14	8月25日	沢内	川の水でかぶれたのか、子供の足が赤くなってしまったとの申し出あり（10代男子）。
15	8月29日	1の滝～2の滝	転倒し額から出血あり（48歳男性）。シューズは持参したものを使用。
16	9月14日	2の滝～3の滝	ウォーターライドをした際岩に当たり擦過傷（24歳男性）。

落石一覧

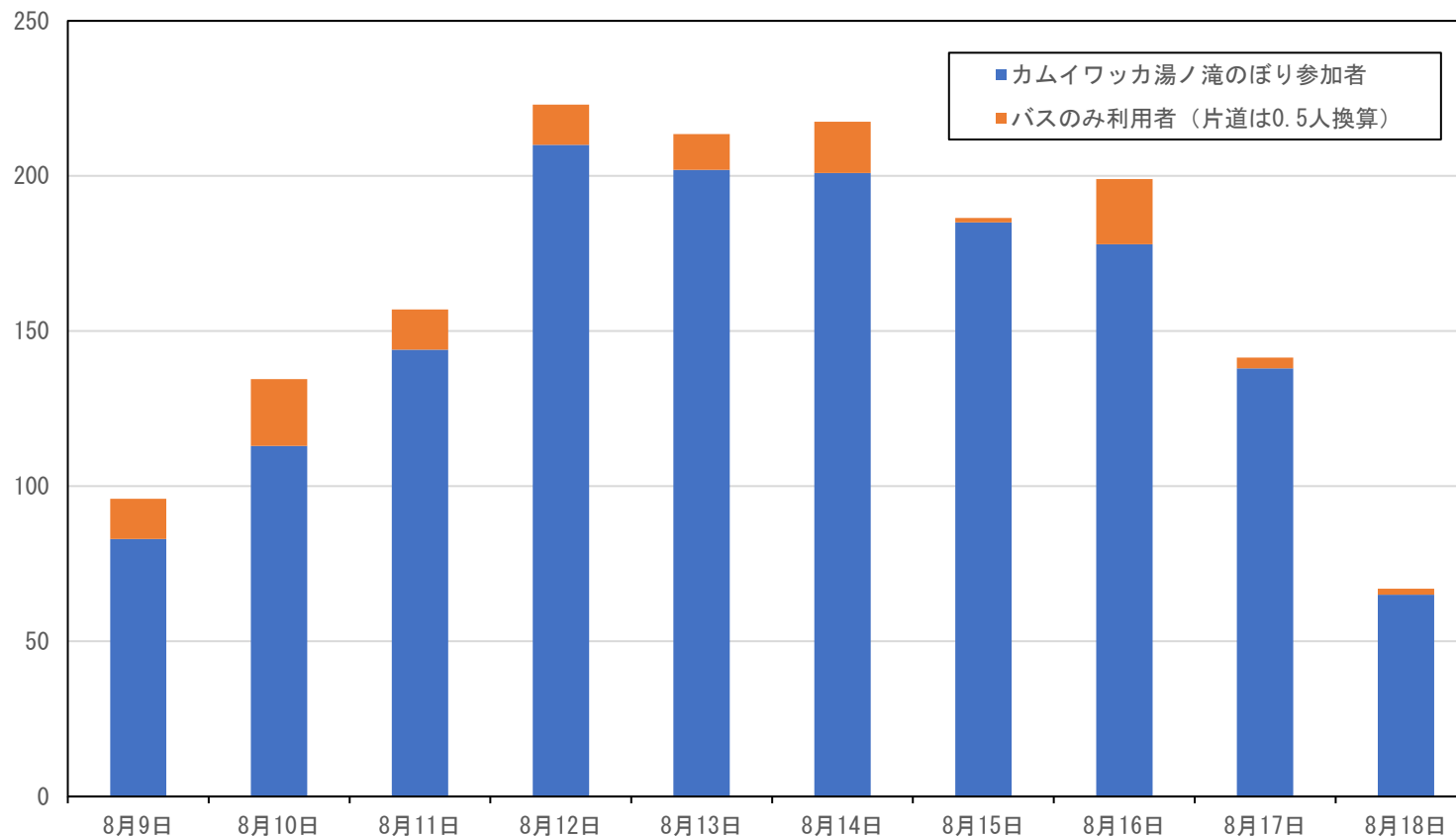
	日付	詳細	ヒグマ	シカ	雨	不明
1	7月7日	1の滝～2の滝間に転石あり。				1
2	7月12日	1の滝～2の滝間に転石あり、除去を行った。				1
3	7月24日	2の滝から3の滝までの中間の左岸で職員が小規模の落石を目撃。			1	
4	8月2日	3の滝下部付近にて転石。被害無し。				1
5	8月28日	沢の登り口付近、左岸に大きめの落石あり。				1
6		3の滝手前に小さい落石数個あり。				1
7		3の滝中間に落石あり。				1
8	9月15日	2～3の滝の間に30cm四方の新規落石あり。				1
9	9月19日	8:50頃、2の滝左岸の斜面より30cmほどの落石を目撃。斜面にはエゾシカがいたため、シカが通過した際に落とした可能性あり。		1		



その他トラブルや苦情等の一覧

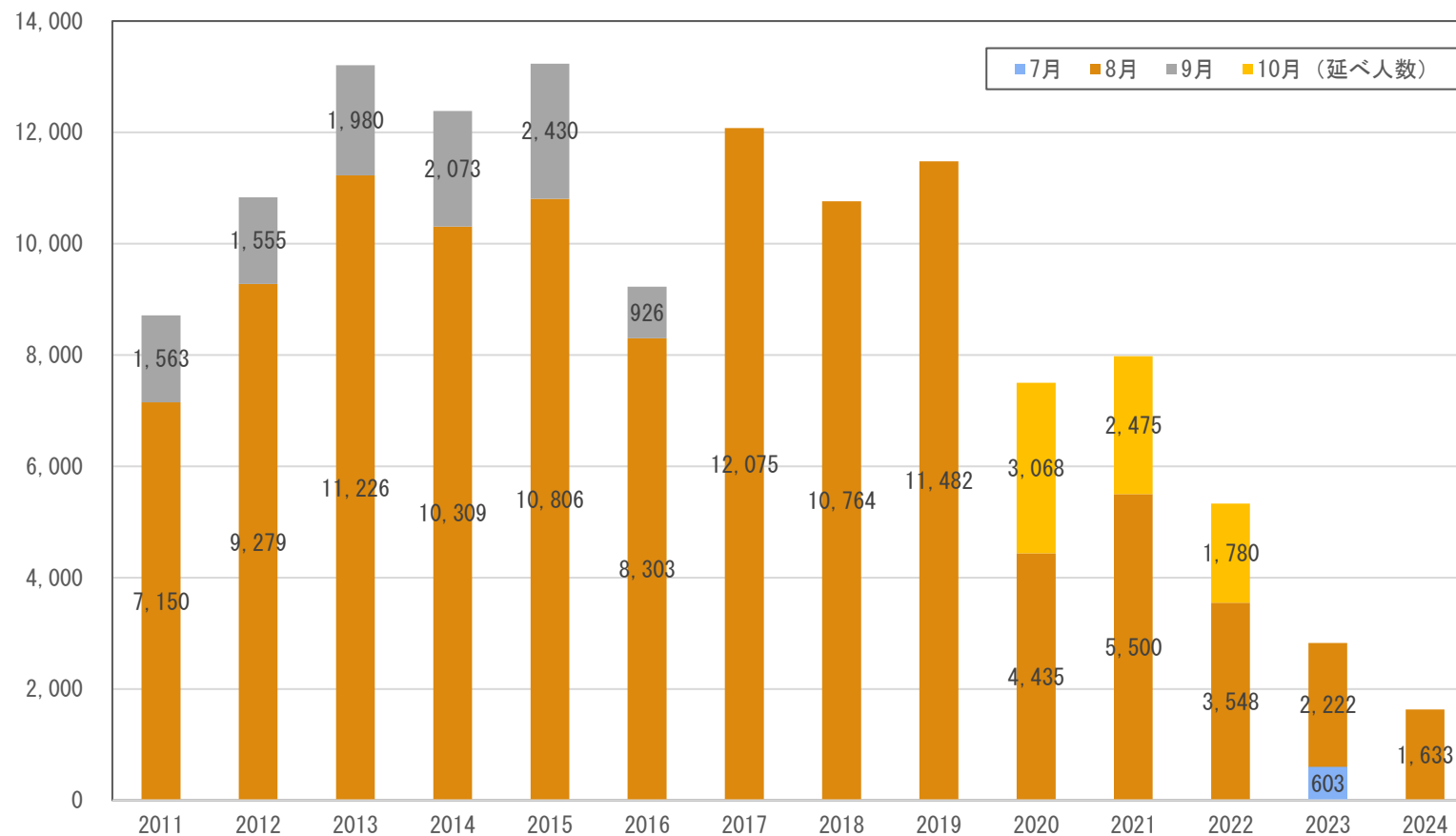
	日付	詳細
1	7月1日	規制ロープを超え、4の滝上部へ立ちいったため口頭注意（1組2名）。
2	7月3日	規制ロープを超え、4の滝上部へ立ちいったためガイドより口頭注意（1組2名）。
3	7月7日	海外ツアーの利用者が裸足で登っていた。危険なため、3の滝で引き返すよう補助員が声掛けを行った。
4	7月10日	規制ロープを超え、4の滝上部へ立ちいったため口頭注意（1組2名）。
5	7月11日	規制ロープを超え、4の滝上部へ立ちいったため口頭注意。
6	7月30日	4の滝（のロープが張られていないところ）を越えて、5の滝まで行ってしまった利用者あり。
7	8月3日	4人で参加していた家族より、先に降りたはずの女兒が見当たらないと申し出あり。周辺や沢内を捜索したが確認できず。補助員が4の滝手前の規制ロープをくぐり捜索に向かっている途中、橋の下部から登り戻ってくる女兒を確認。女兒はかなり慌てており、滝つぼに気付かず直進していたため、補助員が制止するよう声をかけたが両親の声しか耳に入っておらずそのまま滝つぼに転落。足がつかず溺れていたため補助員が飛び込み救助。救助の際、足が届くと思い補助員（身長180cm）が滝つぼに飛び込んだが、足がつかず救出が困難で二次災害になりかけた。女兒は背中に軽い擦り傷があったがその他の外傷は救助者共に無し。
8	8月7日	サンダル（足先が露出したもの）で入渓した子供の利用者が親よりも先に降りていたため、注意し親にも説明したが子供は体の痒さに我慢できず親を待てなかったため、監視員1名が子供に付き添い下まで降りた。
9	8月24日	利用開始前の沢内の確認の際、4の滝上部に既に入渓者あり。口頭注意。
10	9月17日	女性の利用者より、3-4滝間の滝つぼに水着で入っていた所、男性2名から長時間に渡って写真を撮られている感覚があり不安になった。補助員の方から声をかけ写真を確認してもらいたい、と相談あり。該当の男性2名へ写真の確認をお願いし、疑わしい写真は見当たらなかったものの、不安に感じた利用者がいたためSNSへのアップロードを控えてもらうよう伝えた。
11	9月23日	到着時から右岸側駐車場に車4台停車あり。カムイワッカゲートの監視員によると8時頃から入渓した人がいたとの報告があった。補助員が確認へ向かったが、利用者は見当たらなかった。沢より硫黄山へ向かった様子。

2-5.事業の実施結果（シャトルバスの運行・日別乗車人数）



- 2024年度のシャトルバスの総乗車人数は1,633人（片道含む）、1日平均は約163人程度であった。
- バスのみ乗車する利用者は計116人（片道含む）で全体の8%程度であり、ほとんどが登山者だった。
- 1便あたりの乗車人数は20名弱（多い便で24名）で、満車になり乗れない便は発生しなかった。

2-5.事業の実施結果（シャトルバスの運行・経年推移）



- 今年度は昨年度よりも運行期間が大幅に短くなったため、乗車人数も減少した。
- 規制の期間や区間、運行方法や利用制度が異なるため、単純比較はできない。

2-6. 2024年度 収支決算見込み(速報)

収入の部

(単位：円)

科 目	予算額(A)	決算額(B)	比較(B-A)	備 考
バス運賃収入	210,000	775,540	565,540	・専用シャトルバス 8/9-8/18(10日間) ・路線バス増便分 8/11-8/15(5日間)
利用者協力金	17,700,000	15,356,550	▲ 2,343,450	利用者数: 7,547人
負担金	2,500,000	2,500,000	0	斜里町
繰越金	8,007,172	8,007,172	0	
利息等	169,828	284,427	114,599	傷害保険料他
合 計	28,587,000	26,923,689	▲ 1,663,311	

利用者数が目標の8,000人に届かなかったこともあり、利用者協力金が大きくマイナスとなった。

支出の部

(単位：円)

区分	科 目	予算額(A)	決算額(B)	比較(B-A)	備 考
事業費	委託料	2,696,000	2,696,000	0	(1) 予約決済運営補助業務
		3,400,000	3,986,420	586,420	(2) カムイワッカ専用シャトルバス・路線バス増便運行業務
		1,573,000	1,430,000	▲ 143,000	(3) カムイワッカエリア公式Webサイト設計改善保守運營業務
		1,059,000	1,022,945	▲ 36,055	(4) 仮設小屋、仮設トイレ等設置業務
		1,800,000	2,530,000	730,000	(5) プロモーション業務
		8,880,000	9,880,000	1,000,000	(6) 企画運営補助・レンタル備品管理業務
		969,000	934,032	▲ 34,968	(7) 知床五湖ゲート・駐車場警備業務
		200,000	200,000	0	(8) デザイン業務
	その他事業費	1,000,000	96,928	▲ 903,072	ガイド事業者備品購入支援費
事業費合計		21,577,000	22,776,325	1,199,325	
事務費		3,675,000	2,991,952	▲ 683,048	
積立金		3,335,000	0	▲ 3,335,000	
次期繰越金		0	1,155,412	1,155,412	
合 計		28,587,000	26,923,689	▲ 1,663,311	

前期繰越金が8,000千円、次期繰越金が1,100千円という結果から、2024年度は約7,000千円の赤字といえる。
(年間の事業費節減が必要)

3. 路線バス増便事業

3-1. 実施概要

知床五湖の混雑対策として、路線バスの増便事業を実施

実施日： 8月11日（日）～8月15日（木） 計5日間

運行区間： 知床自然センター⇄知床五湖を1日12往復

料金： ￥960（大人）、￥480（小人）

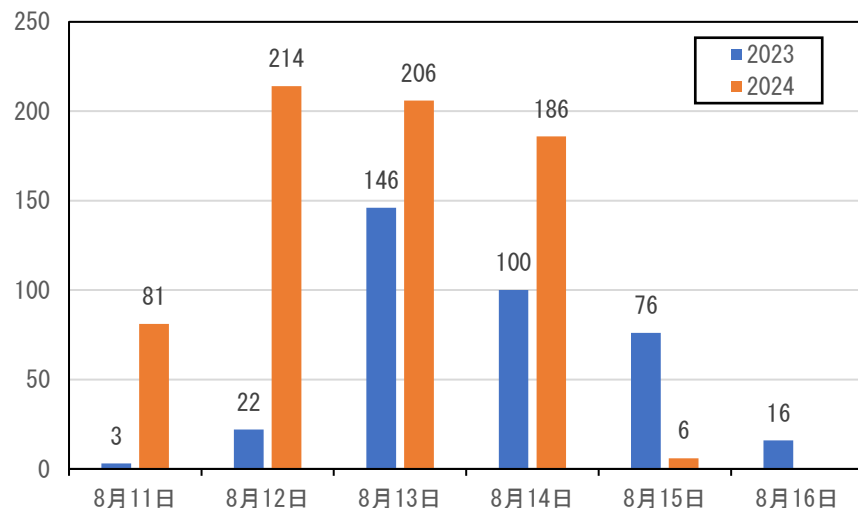
- 車両規制は行わず、混雑時に乗り換えを呼びかけ



知床五湖でバスを待つ利用者の様子

		路線	臨時	路線	臨時	臨時	路線	臨時	路線	臨時	路線	臨時	路線
往 路 ↓	斜里バスターミナル Shari Bus Terminal	8:10					11:30						
	ウトロ温泉バスターミナル Utoro Onsen Bus Terminal	9:10		10:15			12:30		13:35		15:10		16:15
	知床自然センター Shiretoko Nature Center	9:20	10:00	10:25	10:50	11:30	12:40	13:00	13:45	14:30	15:20	16:00	16:25
	知床五湖 Shiretoko Goko	9:35	10:15	10:40	11:05	11:45	12:55	13:15	14:00	14:45	15:35	16:15	16:40
↓ 復 路	知床五湖 Shiretoko Goko	9:45	10:15	10:40	11:05	11:45	13:05	13:15	14:00	14:45	15:45	16:15	16:40
	知床自然センター Shiretoko Nature Center	9:58	10:28	10:53	11:18	11:58	13:18	13:28	14:13	14:58	15:58	16:28	16:53
	ウトロ温泉バスターミナル Utoro Onsen Bus Terminal	10:05		11:00			13:25		14:20		16:05		17:00
	斜里バスターミナル Shari Bus Terminal			12:00									18:00

3-2. 実施結果



図：日別の乗車実績

- 2024年度は8月の5日間のみ運行（8月11日～8月15日）だったが、8月11日以降五湖の渋滞が続き（最大700m）総乗車人数は693人と昨年を大きく上回った（2023年は363人、昨年度比190.9%）。
- 広報や案内を強化し、昨年よりも渋滞が発生した際のバスへの乗り換えがスムーズだった。

表：知床五湖駐車場の渋滞発生状況の比較（2023年～2024年）

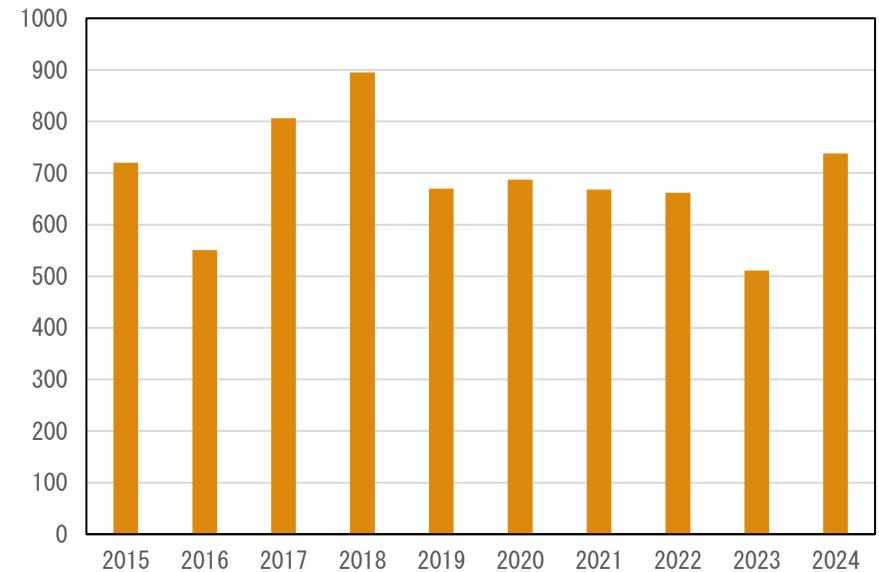
	2024年度	2023年度
8月11日	渋滞無し	渋滞無し
8月12日	8:50～14:30渋滞（最大700m）	13:30～16:20渋滞（最大300m）
8月13日	9:00～16:25渋滞（最大400m）	8:55～14:35渋滞（最大700m）
8月14日	9:25～14:00渋滞（最大500m）	9:00～16:30渋滞（最大400m）
8月15日	10:10～11:45渋滞（最大200m）	9:30～14:00渋滞（最大200m）
8月16日	9:50～15:40渋滞（最大700m）※臨時バス運行無し	10:30～11:50渋滞（最大201m）

4. 硫黄山登山道の利用実績

4. 利用実績

硫黄山登山道 利用者数（カウンターデータ）

利用者数(人)	6月	7月	8月	9月	計
2015	76	315	223	106	720
2016	54	282	123	92	551
2017	50	600	139	17	806
2018	188	487	129	91	895
2019	99	252	173	146	670
2020	50	269	183	185	687
2021	84	269	197	118	668
2022	86	241	174	161	662
2023	120	157	102	132	511
2024	134	249	205	150	738



硫黄山登山口の利用者数

- 硫黄山登山口に設置した利用者カウンターの通過者数（退場者）の値を使用した。
- 2024年度は昨年比144%の増加となり、過去5年間の最高値となった。
- 登山口の利用者のうち、4割程度は縦走利用者と推定（別データによる）。

5.知床ディスタンスキャンペーン

5-1. 実施概要

知床ディスタンスキャンペーンとは

- 利用者に対し、野生動物と適切な距離をとることや、野生動物を見ても降車しない等と呼びかけ、野生動物と出会った際の知床における行動指針を周知することを目的として活動。
- 2020年から実施しており、5年目に当たる2024年度は、昨年度に引き続き自然公園法の改正に伴う野生動物への餌付け・接近禁止のルール普及と連携を図った。

実施主体

- 適正利用エコツーリズム検討会議 カムイワッカ部会
- 知床国立公園カムイワッカ地区利用適正化対策協議会
- 知床ヒグマ対策連絡会議

2024年度の実施内容

- ビジター施設、SNS・webサイト、道路電光掲示を通じた普及
- 普及イベントの実施、出展等



知床横断道路開通に併せ広報実施（2024年4月26日）

5-2. 実施結果

① ディスタンスカードの配布

知床世界遺産センター、知床自然センター、知床五湖フィールドハウス、羅臼ビジターセンター、ルサフィールドハウスの来館者に対し、利用案内・館内展示・キャンペーン展示等と併せてカードを配布する他、映像視聴者やレクチャー視聴者への配布を実施。



ディスタンスカードとは
野生動物と適正な距離を測る
ことができるカードのこと。

② 普及啓発ツールの配布・掲示

ビジター施設や道の駅・宿泊施設といった
観光関係施設にチラシやポスターを配布・掲示。
「しおり」は知床五湖の駐車場、知床自然センターを中心に
配布した。



普及啓発しおり



キャンペーンチラシ



自然公園法啓発チラシ

③SNSでの情報発信

各ビジター施設が運営するSNSにてチラシやイラスト等の発信によるキャンペーンやディスタンスカードの周知広報を行った。また、ディスタンスキャンペーンに関連した取り組みやイベントについてSNSで発信した。

④国道334号線、道道知床公園線での注意喚起

道路管理者の協力を得て、7月下旬より国道334号線や道道知床公園線の電光掲示板に「ヒグマを見ても車から降りない」旨の注意喚起文を掲示いただいた。

⑤普及イベントの実施

- ・ 知床横断道路開通に併せた「ディスタンスキャンペーン」
- ・ 交通安全運動「旗波作戦」



横断道路開通待ち車両へチラシやカードを配布



交通安全運動と連携したイベントの様子

⑥知床サステイナブルフェスへの出展

10月に知床自然センターにて開催された知床サステイナブルフェスに合わせ、知床ディスタンスキャンペーンとヒグマの普及啓発イベントを2日間実施した。ヒグマの学習キットを用いて生態の説明を行ったほか、ヒグマクイズを実施し、参加者にディスタンスカードやノベルティグッズの配布を行った。

● 配布物内訳、実績

- ・キャンペーンチラシ、公園法啓発チラシ、ディスタンスカード、しおり（セットにまとめ250セット配布）
- ・野生動物エサ禁止ポストカード、ディスタンスステッカー、（各50枚配布）
- ・クイズ景品（ボディソープ、オリジナルタンブラー）



イベント出展の様子



ディスタンスカードを使い、ヒグマの模型との距離を測る